

講義名	グローバルロジスティクスマネジメント論		
科目区分	学部専門科目		
担当教員	李 志明		
開講期・曜日・時限	後期 水曜日 3時限	授業形態	
履修開始年次	3年生	単位数	2
		備考	

主題と概要

今の企業は、国を問わず、世界中で事業を行っている。各国のインフラを十分に考え、各国に適合する製品を生産し、商品や物流の品質管理をしなければならない。その時、英語は不可欠である。講義の通して、グローバル・ロジスティクスにおける多様な要素や事例そして課題を理解する。また、英語でロジスティクスを理解するようチャレンジする。

到達目標

- ・グローバルロジスティクスにおける様々な用語が説明できる。
- ・海外のロジスティクスの現状を理解する。
- ・ロジスティクスに関する英語を修得する。

提出課題

- ・レポート2回

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

1 回目のレポート課題については学生全体の内容や書き方について講評します。小テストは、実施後に解釈します。

評価の基準

- ・レポート (40) 20点2回
- ・小テスト (60) 10点6回

：小テストを3回受けなかった時点で評価は放棄となります。

*授業態度による加減あり ；英語資料の読みと解釈など授業に積極的に参加する場合プラスしますが、私語など授業が妨害する場合はマイナスにします。

履修にあたっての注意・助言他

- ・授業マナーを重視します。教員や他の学生に迷惑にならないようにしてください。
- ・双方向性を重視します。
- ・英語の予習が必要な場合があります。

教科書

- ・使用しない。

プリント資料及び参考文献

- ・授業中に適宜資料を配布する。

授業計画

1. グローバル・ロジスティクス・マネジメント論の理解
2. Amazonから見るロジスティクスの重要性① (英語資料)
3. Amazonから見るロジスティクスの重要性② (英語資料)
4. 国際化とロジスティクス
5. 日本企業のグローバル・ロジスティクス
6. 国際物流システムの要素
7. 貿易とグローバル・ロジスティクス
8. 食品の輸入から見るグローバル・ロジスティクス① (英語資料)
9. 食品の輸入から見るグローバル・ロジスティクス② (英語資料)
10. データで見るグローバル・ロジスティクス
11. 自動車メーカーの輸出から見るグローバル・ロジスティクス① (英語資料)
12. 自動車メーカーの輸出から見るグローバル・ロジスティクス② (英語資料)
13. ファストファッションのグローバル・ロジスティクス① (英語資料)
14. ファストファッションのグローバル・ロジスティクス② (英語資料)
15. 今後のグローバル・ロジスティクス・マネジメントの課題

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

この授業科目は2単位ですが、2単位に必要な学修総時間は90時間と定められています。内訳は授業で毎回90分、予習・復習で毎回4時間です。

英語資料を先に配布します。自分の英語レベルを考慮し、必要な場合は予習をしてください（約3時間）。英語の文法ではなく、そこで言っている内容を理解しておく方が良いでしょう。その他の内容は事前に示す内容についてネットなどで検索して大まかな概念を予習してください（約3時間）。授業後は専門用語などを中心に復習して必ず内容を理解してください（約1時間）。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

データなどを学生が携帯で検索する場合があります。また、ほぼ毎回の授業で、学生の考え方を聞きます。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
物流データの分析と物流政策立案の支援の経験があります。民間企業や政府の考え方や仕事のやり方などが述べられます。

備考